

民俗学 I

科目ナンバリング CUA-201
学芸 選択 2単位

鈴木 敏弘

1. 授業の概要(ねらい)

民俗学とは、各地に伝えられている生活習慣を素材として、人々の生活の変遷を明らかにし、そこから過去の事象を探ったり、地域の生活誌を記す学問です。

我々の生活の中では、理由はわからないものの、なぜか習慣的に行っていることがあります。習慣的に行われていると言うことは、そこに何かの理由があるのです。

本講義では、その理由を考えてみたいと思います。

前期では、民俗学の基本的な知識や方法、年中行事をテーマに講義したいと思います。

また、皆さんに聞き取り調査をしてもらうことも考えています。

2. 授業の到達目標

民俗学という学問の特質が理解できる。

自分の家では、現在どのような年中行事が行われているのかを把握できる。

現在の生活習慣の根源に何が存在しているのが理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験・授業態度・出席(出席が不足する場合にはマイナス評価もしくは単位ができません)を総合的に勘案して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

とくにありません。

5. 準備学修の内容

祖父母・父母・親戚から自分の家で行われている年中行事を聞いておく。

6. その他履修上の注意事項

受講生の人数により事例報告が講義に変更となったり、回数が変更になる可能性があります。

講義中ノートをとること。病気等やむを得ない場合以外は必ず出席すること。

進捗状況により、内容を変更する場合があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 民俗学とは何か
- 【第3回】 民俗学の対象
- 【第4回】 民俗学と隣接諸科学
- 【第5回】 民俗学の歴史
- 【第6回】 民俗調査の方法
- 【第7回】 春の行事 ①
- 【第8回】 春の行事 ②
- 【第9回】 夏の行事①
- 【第10回】 夏の行事②
- 【第11回】 秋の行事①
- 【第12回】 秋の行事②
- 【第13回】 冬の行事①
- 【第14回】 冬の行事②
- 【第15回】 まとめ・試験